「高根沢町地域経営計画 2026」令和９年度の推進について

１．方針

令和９年度_経営方針

・計画で設定した４ つの柱（**人口対策**、**国土強靭化**、**脱炭素化**、**DX**）を各施策に取り入れ、限られた経営資源を最大限に活用し持続可能なまちづくりを推進してください。
・**令和 10 年秋に予定されている新庁舎の供用開始を見据え**、組織全体が**未来の行政サービスを見据えた変革期**にあることを自覚し、職員一人ひとりが当事者意識を持って職務に邁進してください。

・**町長から職員に向けて発したメッセージ**で、８月 10 日に周知をしました。
・議会にも、８月 25 日に開催された議会全員協議会において説明しました。

計画推進方針

■**BPR （業務改善）の徹底**
・新庁舎移行を業務課題改善の契機として捉え、各課の係単位で業務を見直し、現状業務における課題を把握してください。
・**より良い行政サービスが提供可能となる方法を検討**し、組織的な業務改善に取り組んでください。

予算編成方針

■**「選択と集中」の徹底**
・**DX 推進**など、新庁舎での運営効率を最大化させるための先行的・戦略的な経費計上に努めてください。
・特定財源を確保するなど、財政規律を堅持しながらも、町の将来像を見据えた柔軟かつ能動的な予算編成を行うこととし、**職員一人ひとりがコスト意識を持ち、限られた予算で最大限の行政価値を創出する工夫**を重ねてください。

２．施策

政　策　分　野	取　組　概　要
1_子ども・教育・生涯学習分野	・**「学校給食費及び園児の副食費の無償化」**を、継続実施する方向で検討を進めています。 ・本年度から**「阿久津中学校の大規模改修」**を進めています。（令和 10 年度まで） ・本年度「阿久津中学校、北高根沢中学校（東小学校）体育館への空調設備整備」に取り組んでいます。 令和９年度は、**「阿久津小学校、西小学校、北小学校体育館への空調設備整備」**に向け検討を進めています。
2_健康・福祉分野	・**「小児医療オンライン相談」**（アプリを活用したオンライン相談（365 日 24 時間対応））の導入検討を進めています。
3_産業振興分野	・**「高根沢だいのはら産業団地の整備」**に向け、本年５月に事業実施主体が栃木県土地開発公社に決定し、現在、実施設計や開発協議などを進めています。令和 10 年度からの造成開始を目指します。 ・**「道の駅たかねざわ_元気あっぷむら」**本館の屋根・外壁、空調設備について、計画的に修繕するよう検討しています。 ・本年度から毎年、**「地域懇談会（地域計画における協議の場）」**を開催し、農業の現状と課題について議論を深めます。
4_環境・社会基盤分野	・雨水対策として、**「東町北区の町有地に浸透槽」**を設置しています。 令和９年度は、同箇所の**「雨水側溝の設置」**を予定しています。
5_安全・安心分野	・本年度、「第６分団消防ポンプ車」を更新します。 ・令和９年度は、**「第７分団消防ポンプ車」**の更新を予定しているほか、**「資機材搬送車」**の納車を予定しています。
6_マネジメント分野	・歳入確保に向けた取組みとして、**「ネーミングライツの導入」**に向け準備を進めています。 ・プッシュ型の情報配信として、**「町公式 LINE アカウントの導入」**に向け準備を進めています。 ・「公共施設等総合管理計画」、「公共施設個別施設計画」を策定しましたので、**「施設の適正保全」**に向け、庁内の議論を深めていきます。

・現在庁内で、令和９年度当初予算（案）の作成に向け**鋭意精査中**です。

・12 月中旬に、**令和９年度当初予算編成に係るパブリックコメント**を予定しています。

・令和９年３月議会に、**令和９年度当初予算（案）**の提出を予定しています。

３．財政運営

<table>
<tr><th>項　目</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td>1_財政調整基金</td><td>令和 12 年度の予測
<table><tr><td>令和 7 年度決算</td><td>15.4 億円</td></tr><tr><td>令和 12 年度予測</td><td>4.5 億円</td></tr><tr><td>差額</td><td>10.9 億円減少</td></tr></table>・財政計画（令和 8 年度改訂版）の試算では、10.9 億円を取り崩し、令和 12 年度の予測残高を 4.5 億円と見込みました。昨年度の財政計画では 8.9 億円を取り崩すと見込んでいましたので、さらに 2 億円近く取り崩す…という見込みです。

・予測残高の 4.5 億円という数字ですが、町地域経営計画 2026_基本目標 6-1 の指標として、「緊急時の備えとして、標準財政規模に占める財政調整基金の比率を 10.0%以上持っていたい」という数値目標を掲げているところ、近年の本町の標準財政規模は 75 億円前後…、その 10%は 7.5 億円…ですので、この時点で既に 10.0%を切る予測残高になってしまっていることからも、厳しい財政運営が求められているという状況です。</td></tr>
<tr><td>2_地方債残高</td><td>令和 12 年度の予測
<table><tr><td>令和 7 年度決算</td><td>65.6 億円</td></tr><tr><td>令和 12 年度予測</td><td>145.5 億円</td></tr><tr><td>差額</td><td>79.9 億円増加</td></tr></table>・79.9 億円増加し、令和 12 年度の予測残高を 145.5 億円と見込みました。昨年度の財政計画では、92.3 億円増加し、令和 12 年度の予測残高を 159.2 億円と見込みましたので、若干の圧縮をかけた格好となります。

・これについては、事業の廃止等ではなく、公債費の状況をみながら、先送りや平準化により、地方債の増加を抑制したものです。</td></tr>
</table>

・財政計画を毎年度改訂していますが、予測以上に、**「物価高騰の影響による物件費・扶助費などの増」**や、**「金利上昇による公債費の増」**が見込まれるところです。

・そのような状況下でも、**後年度負担の軽減を図りつつ、必要な事業には投資を行う**よう、財政運営していきます。

項　目	内　容
3 _公債費	償還額の推移予測 令和 9 年度　8.0 億円 令和 10 年度　10.1 億円 令和 11 年度　11.4 億円 令和 12 年度　11.5 億円 令和 13 年度　12.0 億円 令和 14 年度　12.1 億円 令和 15 年度　11.5 億円 ・**令和 9 年度までは 10 億未満**ですが、令和 10 年度以降は 10 億円を超え、**ピークは令和 14 年度の 12 億 1 千万円**という試算となりました。 ・昨年度の財政計画では、令和 12 年度までは 10 億未満ですが、令和 13 年度以降は 10 億円を超え、ピークは令和 14 年度の 11 億 3 千万円という試算でしたので、全体的に償還額が膨らんでいるという結果でありまして、要因は、**金利の上昇**によるものです。